

たくさんのご応募
ありがとうございました！！

平成24年1月12日
環境政策局

〔担当 環境企画部環境管理課〕
TEL 213-0930



第9回京都環境賞受賞者について

～大賞の京都環境賞は「嵐山保勝会」が受賞、
特別賞は4団体、奨励賞は1団体が受賞～

京都環境賞は、地球温暖化の防止や循環型社会の形成をはじめ、環境の保全を目的とした市民や事業者の皆様の実践活動を更に推進するため、先進的な活動等に取り組んでおられる方を表彰するものです。

この度、「京都環境賞選考委員会」での御意見を踏まえ、第9回京都環境賞、特別賞及び奨励賞の受賞者を決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 受賞者

受賞内容	受賞者名
京都環境賞	嵐山保勝会
特別賞（市民活動賞）	西京極大門ハイツ管理組合法人
特別賞（企業活動賞）	千両松地域エコ協議会
特別賞（環境教育賞）	学校法人 光華女子学園光華小学校
特別賞（環境レポート賞）	生田産機工業 株式会社
奨励賞	フィールド ソサイエティー

2 表彰式

- (1) 日時 平成24年1月18日（水）午前10時～
- (2) 場所 京都市役所第一応接室
- (3) 出席者 門川 大作 京都市長
坪内 俊明 京都市環境政策局長
山田 國廣 京都精華大学教授（京都環境賞選考委員会委員長）
- (4) 表彰内容 表彰状及び副賞（賞金：京都環境賞 50万円、特別賞 5万円）



第8回京都環境賞表彰式

3 応募総数

57件

内訳	市民, 市民団体	21件
	企業	22件
	環境教育	10件
	環境レポート	4件

4 京都環境賞選考委員会

- (1) 開催日時 平成23年11月15日(火) 午後2時～午後4時
- (2) 開催場所 職員会館 かもがわ 第二会議室
- (3) 委員 別紙のとおり

5 選定理由

(1)「京都環境賞」

受賞者 嵐山保勝会 (あらしやまほしょうかい)

代表者 会長 石川 暢之介 (いしかわ ちやうのすけ)

所在地 京都市右京区嵯峨天竜寺芒ノ馬場町40番地

テーマ 渡月橋小水力発電設備

選定理由

同会は、国内で初めて、一級河川である桂川に低圧連系による小水力発電装置を設置し、その発電電力を利用して渡月橋に景観に配慮した常夜灯を設置・点灯させると共に、余剰電力は売電を行なう等の取組を行なった。この取組は、再生可能エネルギーの利用による地産地消の取組であり、地球温暖化防止のみならず、景観保全、地域の安心・安全にも大きく貢献した、観光都市・環境モデル都市「京都」らしい取組といえる。以上のことから総合的に判断して、京都環境賞として選定された。

(2)「特別賞」(市民活動賞)

受賞者 西京極大門ハイツ管理組合法人

(にしきょうごくだいもんはいつかんりくみあいほうじん)

代表者 理事長 山口 隆康 (やまぐち たかやす)

所在地 京都市右京区西京極大門町21番地

テーマ 無理せず無駄を省いてマンションで取り組む省電力/温暖化対策

選定理由

同法人は、昭和51年の分譲時から管理組合を設立し、マンション住民も市民として、「地球温暖化対策の一端を担うこと」を理念に、全住民の賛同を得て、生活のレベルを落とさず、無理なく無駄を省きながら省エネ・温暖化対策に貢献できる設備改修に、積極的に取り組んでおり、環境保全に対する意識が非常に高い。合意形成が難しいマンションの課題を克服し、35年にわたる息の長い取組を実践している。この住民一体となった取組がモデルとなり他地域への広がり期待し、市民活動賞として選定された。

(3) 「特別賞」(企業活動賞)

受賞者 千両松地域エコ協議会 (せんりょうまつちいきえこきょうぎかい)

代表者 会長 福岡 進 (ふくおか すずむ)

所在地 京都市伏見区横大路千両松町126番地

株式会社 株式会社京都環境保全公社内

テーマ 環境保全活動及び環境教育活動

選定理由

同協議会は、平成15年に横大路千両松に所在する「産業廃棄物処理業者14社」が、地域の環境保全のために自主的にできることを始めようという趣旨のもと発足した。9年にわたる継続的な定期清掃や施設見学会開催等の取組により、協議会加盟各社と地域住民がともに調和のとれた地域づくりをすすめている等、産業廃棄物処理業者としても、全国的にも珍しい地域貢献活動を行っている。

同協議会の活動が産業廃棄物処理業者の環境活動のモデルとなることを期待し、企業活動賞として選定された。

(4) 「特別賞」(環境教育賞)

受賞者 学校法人光華女子学園 光華小学校

(がっこうほうじんこうかじょしがくえん こうかしょうがっこう)

代表者 校長 櫻井 成 (さくらい しげる)

所在地 京都市右京区西京極野田町39番地

テーマ 1 桂川河川敷公園の清掃活動

2 ビオトープ学習

3 学園：エコキャンパス

選定理由

同校は、12年間にわたり地元自治会と一体となって、桂川河川敷公園の清掃活動を実施する等、校区設定のない私立小学校でありながら、地域とのつながりを築き、児童がごみの現状や公衆道徳を学ぶ良い機会を作っている。また、体験型の取組による環境保全意識の定着を目指し、同法人大学の環境ボランティアサークルと連携を図る等、内容の充実と活動範囲の拡大にも意欲的に取り組んでいる。

同校は、地域や大学と一緒に児童への環境教育を図る体制づくりをすすめており、同じ課題を抱える私立小学校を始め、小学校での環境教育のモデルとなることを期待し、環境教育賞として選定された。

(5) 「特別賞」(環境レポート賞)

受賞者 生田産機工業 株式会社 (いくたさんきこうぎょう かぶしきがいしゃ)

代表者 代表取締役 生田 泰宏 (いくた やすひろ)

所在地 京都市伏見区横大路下三栖辻堂町6番地

テーマ 地球環境と協働～響きあい 活かしあい 良き働きあい

選定理由

同社は、エコ製品の導入、グリーン調達、生産工程、地域活動、緑化の推進等の社内の取組にとどまらず、風力発電事業を軸に地域社会にフィールドを広げた環境活動を行っている。ま

た、社外から環境活動を積極的に行う企業として、先導役になる機会が増える中、京都環境コミュニティ活動（K E S C）のプロジェクトで出前授業を行う等、子供達への環境教育にも積極的に取り組んでいる。

同社は、これらの取組内容を環境レポートとして、写真を多用し誰にでもわかりやすく簡潔に内容豊富なものとしてまとめて、得意先を始め広く社会に発信するなど、環境意識の向上に貢献されていることから、環境レポート賞として選定された。

(6)「奨励賞」

受賞者 フィールド ソサイエティ（ふいーど そさいえていー）

代表者 代表 久山 喜久雄（ひさやま きくお）

所在地 京都市左京区鹿ヶ谷法然院町7 2－2 番地 法然院森のセンター

テーマ 寺と市民が協働する環境学習活動

選定理由

同団体は、環境問題の課題解決に取り組む人材を育成することを目的に、法然院と市民の協働で、自然環境豊かな里山を利用した環境教育を行っている。26年に及ぶ取組が地域にも定着し、他の環境活動団体や教育機関とも連携を深める等、環境保全の意識啓発に大きく貢献している。

同取組は、自然に恵まれ「寺社」が多い京都という土地柄を生かした、京都らしい取組であり、今後、京都から全国への発信が更に広がっていくことを期待し、奨励賞として選定された。

平成23年度京都環境賞選考委員会委員名簿

○印は委員長

氏名	役職名
○ やまだ くにひろ 山田 國廣	京都精華大学教授
あきおか みえ 浅岡 美恵	京のアジェンダ21フォーラム幹事, 特定非営利活動法人 気候ネットワーク代表
くろだ せいき 黒田 清喜	京都新聞社執行役員編集本部長
しんき とみお 新喜 富雄	京エコロジーセンター次長
つむら あきお 津村 昭夫	特定非営利活動法人 KES環境機構専務理事
ひらばやし さちこ 平林 幸子	京都中央信用金庫専務理事
やまうち ひろし 山内 寛	京都市ごみ減量推進会議会長代行, めぐるくん推進友の会会長
ほしかわ しげかず 星川 茂一	京都市副市長

(敬称略, 委員長, 副市長を除く50音順)